

第10分科会「健康」運営概要

【研究課題】 「たくましく生きる心と体を育む健康教育と校長の在り方」

【研究の視点】 (1) 心身ともに健やかな成長を目指す健康教育の推進

(2) 望ましい食習慣の形成を目指す食育の充実

I 分科会研究協議の運営計画

〈研究の視点1に関わって〉

- ・たくましく生きる意志と意欲を育み、心身ともに健やかな成長を目指す資質・能力の育成
- ・生涯にわたって自らの健康を適切に管理し、維持・改善する能力を育む健康教育の充実
 - ①健康教育についての学校指導体制確立と校長の関わり
 - ②家庭・地域との連携による子どもの健康管理能力の育成

〈研究の視点2にかかわって〉

- ・養護・栄養教諭を中心に、全教職員が効果的に連携した校内体制の確立
- ・地域・家庭と連携しながら望ましい食習慣の形成に果たす学校の役割
 - ①栄養教諭の役割と食指道の充実に関する校長の関わり
 - ②家庭との連携による望ましい食習慣の実践化
 - ③地産地消・地域に根差した食育の展開

II 昨年度までの課題

〈研究の視点1に関わって〉

- 校長としての「基本的な考え方」を示し、意図的計画的な取組が実現できるよう進行管理を行うことが大切である。
- 評価を改善に生かすには、指導と評価の一体化を図る。
- スモールステップの評価をどう組み立てるか、また、学校評価と関連付けながら、教職員の資質向上を図る評価管理をいかに工夫するか。
- 幼小・小中・中高が連携した実践を追究することも重要である。

〈研究の視点2に関わって〉

- 食育を知育、徳育、体育の基礎、つまり、生きる力を育む土台として捉え、学校経営の柱として位置付ける必要がある。
- 食育の重要性を教職員に理解させ、教職員の意識改革を図ることが大切である。
- 栄養教諭や養護教諭と担任との連携体制の在り方と栄養教諭の多忙感を減らす工夫が必要である。
- 地域ぐるみの食育推進や地産地消の観点から、保護者やPTA・生産者・農協・漁協との連携、交流が考えられる。(意図的に食を考える場や体験を設定する必要がある)

III 研究発表の概要

研究発表者 空知地区 深川市立納内小学校長 石丸 由美子

発表題 子どもの心身の健やかな成長を促す健康教育の推進と校長の役割

【研究の視点】 (1) 心身ともに健やかな成長を目指す健康教育の推進

(2) 望ましい食習慣の形成を目指す食育の充実

IV 協議の流れ（13：00～16：30）

- | | | | |
|--------------------------------------------------------------------------|--------------|--------------|-------------|
| 1. 開会の言葉
2. 担当者の紹介
3. 司会者挨拶
4. グループ名刺交換（ <small>剽</small> ・自己紹介 | } | 13：00～13：13 | |
| ・6人グループ8つ、表示札の設置、アンケート用紙の配付、発表カードの配付 | | | |
| 5. 趣旨説明（10分） | | | 13：15～13：25 |
| 6. 研究発表（20分） | | | 13：25～13：45 |
| ・プロジェクターを使用しプレゼンテーション、補助資料も使い説明する。 | | | |
| 7. 研究協議（40分） | 13：45～14：25 | （アンケート記入10分） | |
| ・協議の柱1～①各領域における学習内容相互の連携を図り、横断的、総合的な健康教育を推進するため、校長はどのように指導性を発揮するか。 | | | |
| ②健康教育を組織的に推進するための校内体制確立に、校長はどのように指導性を発揮するか。 | | | |
| ・協議の柱2～①望ましい食習慣の形成のために不可欠な家庭・地域との連携づくりの推進に、校長はどのように指導性を発揮するか。 | | | |
| （質疑応答の中でグループ討議の課題を明確にしグループ交流へつないでいく。） | | | |
| 8. 休憩（15分） | 14：35～14：50 | | |
| 9. グループ交流（50分） | 14：50～15：40 | | |
| 視点1（25分）「心身ともに健やかな成長を目指す健康教育の推進」 | | | |
| 〈討議の柱①〉 研究協議の柱1・① | | | |
| 〔要素〕 ・教育課程への位置付け（※実態と活用、工夫と実施、成果と課題） | | | |
| ・保護者、地域との連携、そして発信 | | | |
| 〈討議の柱②〉 研究協議の柱1・② | | | |
| 〔要素〕 ・学校経営への位置付け | | | |
| ・組織体制の確立 | | | |
| 視点2（25分）「望ましい食習慣の形成を目指す食育の充実」 | | | |
| 〈討議の柱①〉 研究協議の柱2・① | | | |
| 〔要素〕 ・養護教諭や栄養教諭の活用（担任との連携） | | | |
| ・地域性を生かした食育への活用 | | | |
| ・家庭や地域の実情を踏まえた学校の取組（実態・課題・意識啓発） | | | |
| 10. 全体交流（30分） | （3～4分×8グループ） | 15：40～16：10 | |
| 11. まとめ（15分） | | 16：10～16：25 | |
| 12. 閉会の言葉 | | | |